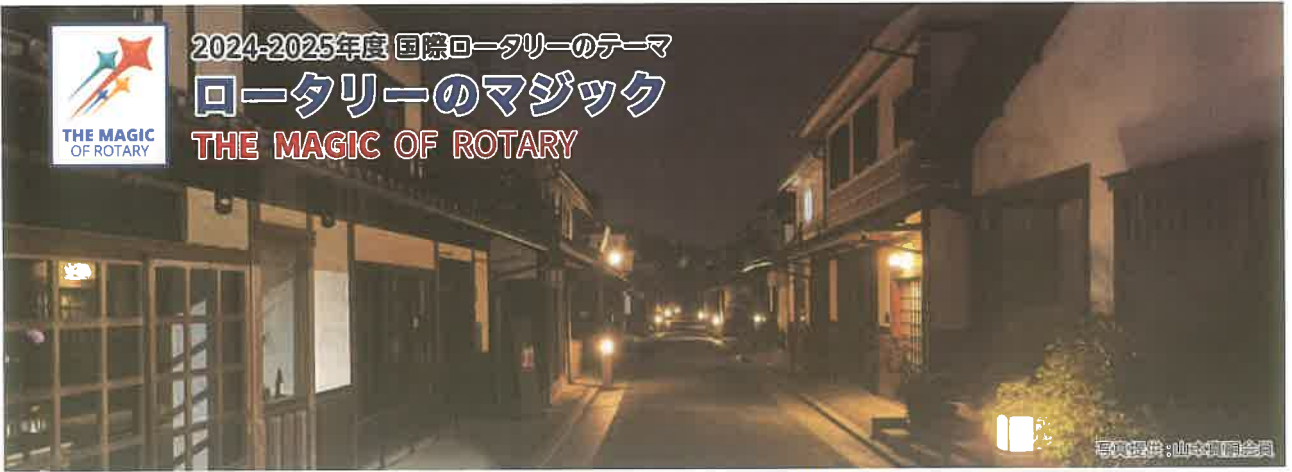




2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーのマジック
THE MAGIC OF ROTARY



写真提供: 山本真樹会員



倉敷南ロータリークラブ
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2972 例会 R. Song 「奉仕の理想」 天候：晴れ No.2972/2024. 8. 9

Guest なし Visitor なし

出席 会員数 60 名（うち出席規定免除者 16 名@2 名⑤14 名）

8/9 の出席率 63.27%（出席者 31 名、内⑤5 名）

欠席 馬場、土井、井手、石本、亀岡、流田、中川、沼本、佐藤、鳶田(晴)、滝川、和田(務)、
渡辺(英)、山本(英)、山本(勲)、山本(真)、柳沢、横道、各会員（18 名）

●和田一朗会長

・皆様こんにちは。猛暑が続いておりますので、体調に十分気を付けてお過ごしください。

【新会員よりご挨拶】瀬戸埠頭(株)代表取締役社長 伊藤 勇 様(三宅繁副会長よりご紹介)
:この度は歴史と伝統のある倉敷南 RC に入会させていただき有難うございます。よろしく
お願いいたします。

●幹事報告(青井幹事)：8 月のロータリーレートは 1 ドル 154 円、他来信 12 件。

●親睦家族委員会(栗元副委員長)

・8 月のお誕生日:和田(一)、河原、萩原、各会員 3 名

・9/11(水)18:30～「歓送迎会・親睦夜間例会」を開催いたします。9/13 の例会変更で
す。また、9/14(土)第 1 回和田会長杯ゴルフコンペを鬼ノ城ゴルフ倶楽部で開催いた
します。ご出席、ご参加くださいますようよろしくお願ひいたします。

●雑誌記録委員会(小野田委員長):ロータリーの友の 8 月号の記事紹介

●スマイル報告(安藤副幹事) ※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。

・和田会長、三宅副会長、青井幹事、安藤副幹事：瀬戸埠頭(株)代表取締役社長
伊藤 勇様のご入会を歓迎いたします。

・浅見会員：妻の誕生日に素敵な花を送っていただき有難うございました。

・安藤会員：妻の誕生日に素敵な花束をいただき有難うございました。

●プログラム卓話:

①クラブ協議会「決算報告」 会計 下山会員

- ・2023～2024年度の一般会計決算報告を申し上げます。収入の部は予算に対して、少し多めの収入となりました。期首会員数 57 名、期末会員数 57 名で増減なし。新型コロナの 5 類移行に伴いビジター来訪が増えました。支出の部は予算額に対して少し削減できました。クラブの財政が厳しさを増す中、削減可能な物を運営に支障のない範囲で圧縮した効果が現れています。
- ・2023～2024年度の奉仕部門特別会計決算報告ですが、収入の部は予算額に対し多少増となりました。スマイル券の追加購入、多額の個人寄付をありがとうございました。支出の部は予算額に対しほぼ同額となりました。
- ・2024～2025年度の一般会計予算ですが、会員数 60 名、入会数 7 名、ロータリーレート 157 円で算出しております。6月に通知した内容で大きな変更点はございません。繰越金は昨年度対比で減少となり、収入不足による繰越金減少傾向に変わりはないので、来年度より年会費 2 万円の値上げは実施させていただきます。

②ショートスピーチ「今年度の地区補助金事業について」 井上社会奉仕委員長

- ・地区補助金のお話をさせていただきます。
- ・受領資格のある活動について、a. ロータリー財団の使命に沿っていること b. 地元又は海外での奉仕プロジェクト c. ロータリー会員が積極的に参加すること
- ・受領資格のない活動は、特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援を行うこと。受益者が同じプロジェクトは申請できない。募金活動も NG。
- ・地区補助金資金が使用できないときは、補助金が承認される前に発生した費用、進行中もしくは既に完了した活動。地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽イベント、プロジェクトでの式典などのロータリー行事に関連する経費など。
- ・ロータリークラブの 1 プロジェクトの補助金額の下限は 10 万円、上限は 50 万円とする。自己資金は補助金の半額以上とする。プロジェクトの内容は、ロータリーが主催するものとする（協賛は不可）。認められない費用は、飲食費、コンクール等での賞品、プレゼント類、プロジェクトにかかわる高額な広報、宣伝費など。
- ・今年は青井さんの名付けたプロジェクト名で「空飛ぶ車で描く未来航路」です。目的は、空飛ぶ車を通じて地域の子供たちに未来の交通手段や社会の可能性を揮発し、科学技術への興味を高め創造性や将来のリーダーシップ社会問題社会貢献の意識を育む。実際の活動は、倉敷駅南の MASC の展示会場を用いて 西浦小学校 4・5 年生 65 名に実際の機械に乗ってもらい、フライトシミュレーション、VR 体験、模型を飛ばしてみるなど、ドローン関係の事を体験する事業を行います。
- ・協力団体は MASC さんで当クラブ会員も関わっている団体です。当日は、沢山の会員の皆様のご参加をお願いいたします。

例会プログラム予定：8月23日(金)卓話「おかやまスイング甲子園について」旭テクノプラント(株)代表取締役 藤森 健 様 / 8月30日(金)卓話 イニシエーションスピーチ 馬場 始三会員